

事務事業評価シート

(H.29)No.	7008-1	(H.28)No.	7008
-----------	--------	-----------	------

事務事業名	公共下水道事業費(公共下水道事業特別会計)		
担当部局名	担当室名	室長名	
上下水道部	経営総務室	飯田 玲子	

会計区分	事業コード
公共下水道事業特別会計	(中事業名)※予算書事業名
款	公共下水道事業費
項	公共下水道事業費
目	(小事業名)

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5	快適な生活環境づくり
	施策	5	下水道等
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
公共下水道の整備による市民の快適な生活環境の創造と公共水域の水質保全を目的としています。

事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・名張地区及び富貴ヶ丘住宅地を含む中央処理区第2期事業区域の整備を進めます。 ・公共下水道全体計画により、北部地域への区域拡大や設備の増設、また南部処理区の事業取得に取り組みます。 ・接続移管した住宅団地の施設老朽化に対し、長寿命化対策を含めた改築事業に取り組みます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<H.27繰越分> ◎建設費 632,141千円 ・枝線下水工事等 ◎施設管理費 5,044千円 ・下水管渠移設工事 <H.28現年分> ◎建設費 298,153千円 ・管渠詳細設計、処理場施設増設、接続幹線工事、処理場施設更新工事、長寿命化対策、等 ◎施設管理費 601,025千円 中央浄化センター施設管理、管渠修繕、住宅地汚水処理施設管理及び更新工事、等 ◎総務管理費 53,981千円 システム使用料、企業会計移行基本計画策定業務委託、料金徴収業務負担金等	<H.28繰越分> ◎建設費 731,287千円 ・枝線下水工事、接続幹線工事、等 <H.29現年分> ◎建設費 637,070千円 ・管渠詳細設計、枝線下水工事、接続幹線工事、処理場施設更新工事、長寿命化対策、等 ◎施設管理費 720,097千円 ・中央浄化センター施設管理、管渠修繕、住宅地汚水処理施設管理及び更新工事、等 ◎総務管理費 84,486千円 ・地方公営企業法適用移行業務委託、システム使用料、料金徴収業務負担金等	・中央処理区面整備、住宅団地接続移管 ・管路施設老朽化対策事業 ・施設管理、管渠修繕工事等 ・中央処理区 第3系水処理施設増設に伴う基本・詳細設計	・中央処理区面整備、幹線管路整備 ・管路施設老朽化対策事業 ・施設管理、管渠修繕工事等 ・中央処理区 第3系水処理施設増設工事	・中央処理区面整備、幹線管路整備 ・管路施設老朽化対策事業 ・施設管理、管渠修繕工事等 ・中央処理区 第3系水処理施設増設工事

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分				
①直接事業費	637,185千円	953,159千円	731,287千円	1,441,653千円	2,175,989千円	3,931,675千円	4,431,351千円	
内訳(千円)	国・県支出金	201,540	113,111	296,399	223,300	514,594	1,352,903	1,420,846
	地方債	390,500	165,940	355,000	360,835	789,900	1,601,900	2,146,400
	一般会計からの繰入金		7,277		80,045	17,405	85	20,999
	その他(使用料等)	45,145	666,831	79,888	777,473	854,090	976,787	843,106
人工数	職員	17.00人	17.00人	14.00人	14.00人	14.00人	14.00人	14.00人
	臨時職員等							
②概算人件費	0千円	130,886千円	0千円	119,783千円	105,000千円	105,000千円	105,000千円	
①+②総事業費	637,185千円	1,084,045千円	731,287千円	1,561,436千円	2,280,989千円	4,036,675千円	4,536,351千円	

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<p>中央処理区第2期事業の平成30年度整備概成(整備区域766ha)を目指し、名張地区市街地地下水管路の整備を促進しました。</p> <p>また、移管済み住宅地の下水施設において、老朽化に伴う維持管理費の増大が課題となっており、引き続き、管路の長寿命化工事及び不明水調査等を実施しました。</p> <p>継続した下水道の普及促進は、健康で快適な生活環境を形成するとともに、公共水域の水質汚濁を防止し、豊かな自然環境の保全に貢献しています。(参考:中央処理区の整備人口23,200人、普及率29.2%、面整備率80.5%)</p>

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】	継続(現行)
継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	
<p>今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)</p> <p>中央処理区第2期事業の整備促進と共に、第3期事業の認可取得に向けた手続き等を進めることとし、接続移管住宅地の老朽化施設に対し、計画的な長寿命化対策を含めた改築事業の計画実施に取り組みます。</p> <p>また、接続率の向上に向けた加入促進を図り、施設の維持管理においても、既存施設の適正な定期点検に努めるとともに、不明水対策についても年次計画的に取り組みます。また、下水道事業全体において、ストックマネジメントの計画についても検討してまいります。</p>	<p>6. 事務事業の取組に関する市の計画</p> <p>名張市下水道整備マスタープラン 名張市公共下水道全体計画 名張市公共下水道経営戦略</p>